

平成 26 年 9 月 15 日 発行 鷹山宇一記念美術館友の会  
〒 039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



吉野 毅  
「請」 ブロンズ

立体は置かれてある場所の空間と、光によって様々に変化をする。今回の作品「請」は、美術館内で、彫刻が一番美しく見える場所に設置され、彫刻自身が、一番喜んでいられると思われる。台座の高さを決定するのに少々悩んだが、除幕のあと、彫刻と記念撮影をする人たちを見て、ホッとす。彫刻は、触覚の芸術と云われることもある。多くの人々に愛され、触られ、七戸の空気に馴染むと、徐々にブロンズに風合いができて、魅力的な彫刻になると思う。

一九六一年日本で初めての「現代イタリア彫刻展」が、日本橋高島屋で開催された。西洋美術館で見ている、ロダンやブルーデルの彫刻とは違う異質な彫刻で、新鮮な驚きを伴う感動があり、彫刻家を志す切っ掛けとなった。高校二年の時である。

一九七〇年初めてヨーロッパへ行く。この旅は、日本との風土の違いを実感し「感性は風土によって培われる」という言葉を噛み締めることにもなる。イギリスからエジプトまで有意義な研修の旅ではあったが、自身の彫刻に疑問を持つことになる。金縛り状態を解す先は奈良しかなかった。お寺の薄暗いお堂の中に入った時、ホッとす。日本人である自分がそこにいたのである。目指す方向が見えてきたのは一九八〇年に入ら頃だった。そして制作したのがこの「請」である。この作品は「夏の終わり、96」と題され、第八一回二科展に発表し、一九九九年日本橋高島屋で開催された「具象彫刻の現在」展に出品した節目となる作品である。

現在彫刻は、多様化の傾向を示している。しかし紀元前のエジプトから現在まで、脈脈と続く彫刻の幹は変わらない。ギリシャのアルカイック期の彫刻や飛鳥・天平の仏像彫刻に、「無限の言葉」を聞きながら制作を続けたものである。

(彫刻家 吉野 毅)

# 二科会青森支部の活動紹介

二科会青森支部 事務局  
木村精郎(友の会会員)



第57回二科青森支部展を2013年5月24日(金)～26日(日)青森市民美術展示館で開催。写真は展示作業風景です。

二科会青森支部は昭和31年(1956)故石橋宏一郎支部長の基、第一回二科青森支部展が開催され、今日まで数えるところ57回を迎えております。第41回(1996)～第49回(2004)は、鷹山ひばりさんのご尽力により、鷹山宇一記念美術館において二科春期展巡回展と同時に開催させて頂くことができ、二科会の先生から直接ア

ドバイスを受けることが出来ました。最盛期には20名以上の支部会員でスケッチ旅行も行っていました。現在は6名となりました。しかし、会員の頑張りにより第57回の二科青森支部展を5月24日から5月26日まで青森市民美術展示館で開催し、多くの方が訪れて下さいました。

支部会員の減少は東北各県とも同じ状況で、各県が孤立している事から、東北が一つになり各支部どうしが協力し二科を盛り上げ、また技術の向上を目的に「二科東北支部連合」が今年立ち上がりました。

立ち上げの先駆けとして、平成27年5月8日(金)～5月13日(水)に、仙台メディアテークにて「二科東北連合支部展」を行う事が決まりました。展覧会では、東北6県の二科で活動するメンバーの作品と、本部会員の作品を展示します。また、絵を志す方にはありがたい企画として、本部会員が直接作品の批評やアドバイスを行って頂きます。

このような活動を行い、東北の方々に二科展を知って頂き、また絵に興味を持って頂く活動を行っていきます。展示を希望される方は、二科会青森支部事務局まで、お気軽にご連絡頂ければ幸いです。詳細は今後決定

致しますが、展示希望の絵を送って頂き、二科会本部内で審査を行い合格した絵を展示いたします。  
※二科本展では入選した作品のみが展示されます。  
※作品の展示には若干の出展料がかかります。



平成15年4月25日  
鷹山宇一記念美術館での二科会青森支部展の際に西野嘉齋先生よりご指導頂きました。

このように二科会本部でも東北で絵を志す方々へ、暖かな手を差し伸べて頂ける事は、ありがたい企画です。是非この機会に二科で絵の世界を広げてみませんか。

## 第99回「二科展」に行ってきました!

第99回「二科展」が九月三日(水)から九月十五日(月)まで東京六本木の国立新美術館で盛大に開催され、大勢の先生方が集い、お話し聞ける初日に行ってきました。

二科展は、絵画部、彫刻部、写真部、デザイン部の四部門から構成され、全国から出展された中から、選考会により入選した力作が絵画部だ

けで約一、一〇〇点が展示されます。四部門で巨大な美術館の一階から三階の展示室を埋め尽くしております。



第99回二科展絵画部展示風景  
会場：国立新美術館

絵画部では、多くの来館者で賑わう一階の展示室に理事長を始めとする会員や会友の方々及び各賞受賞作品等が展示され、二階、三階の展示室は一般応募者の入選作品等が展示されていきました。賞を頂いた方々がご自分の作品について解説をして下さる時にはその作品の前で耳を傾け、大いに触発されて帰って来ました。鷹山宇一先生を始めとする多彩な画家を育んだ「二科会」の青森県支部の一層の隆盛を図るため、支部活動をより活発にして行きたいと思っております。友の会の会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

### 二科会青森支部

#### 事務局

〒030-3851

青森市旭町2-5-27

電話 017-721-5622

携帯 090-4319-5091

担当 木村 精郎

盛会で清雅な  
開館二十周年記念式典

八月三日(日)来賓及び関係者各位百二十余名のご臨席の栄を賜り、開館三十年の節目を祝ってくださいました。

当美術館は、当町出身の鷹山宇一画伯の画業を顕彰するため、平成六年八月一日に開設されました。爾来、皆様方の温かなご支援により今日まで「芸術文化の振興拠点」として、その役割を担って参りました。

「開式の辞」の後、彫刻家吉野毅先生が制作した彫刻「請」の除幕式が行われました。

続いて、当公益財団法人鷹山宇一記念美術館振興会の福士孝衛理事長が「開設時は小さな町の美術館で心配はあった。鷹山先生から『ありがとう』と感謝された」ことなど当時を回想しながら、これまで「行動する美術館」をモットーとして企画展を開催し、来館者は四十五万人に達し



福士孝衛理事長

たこと、これを機に、さらに鋭意努力していく旨の式辞がありました。次に、彫刻「請」を制作された吉野毅先生が彫刻に対する熱き想いを語ってくださいました。

引き続き、長年にわたり理事長として美術振興に尽力された青山浄晃氏にその功績をたたえ感謝状の贈呈が行われました。



吉野毅氏

その後、来賓の小又勉七戸町長をはじめ、白石洋七戸町議会議長、東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館原口秀夫館長、鷹山宇一画伯の長女鷹山ひばり青森県立美術館館長等各位から祝辞をいただきました。

最後に、県内各地で夏を彩る祭典が繰り広げられている最中、ご臨席を賜りました来賓各位の紹介、青森県知事をはじめ、青森県議会議長、その他多数の皆様からいただいた心温まる祝電を披露申し上げ、式典を終了いたしました。

鷹山宇一記念美術館の新たな魅力  
彫刻「請」の設置

長年の夢が叶い、開館二十周年記念式典で彫刻「請」のお披露目ができることとなりました。誠に有り難く、感無量です。

紅白の紐をゆっくり引くにつれて、覆っていた純白の布の間から、

神々しい女性像「請」の姿が徐々に現れ、大きな歓声と拍手が沸き起こりました。これまで、吉野先生が当美術館に相応しい彫刻を考え、温めてきたものと思えます。



彫刻「請」除幕式

願いを込めて制作された「請」の意味は、「幸を願望望む」だそう  
で、材質はブロンズで、高さ178cm、幅・奥行45cm、台座40cmです。



鷹山ひばり氏と吉野毅氏

式典の中では、鷹山宇一画伯の長女鷹山ひばり氏を隣にして当美術館に設置することへの想いを語りました。

先生が制作した彫刻「請」を観ていますと、心が癒され、心が和みます。まさに、不思議な力を秘めているように思えてなりません。

このことから、先生が求めている芸術的な観点からの究極の彫刻とは一体何か、不遜ではありますが、「心を浄化・安定させる聖像」ではないかと勝手に想い巡らしています。

このような心情に駆り立てられるのは私ばかりではなく、異口同音に率直な気持ちを語る方もいらっしやいます。

賞するほどの著名な先生でありながら、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の如く、人を選ばず、常に真心を持って接するお人柄だからではないでしょうか。

記念式典を終えて

開館二十周年記念式典を滞り無く終えることができましたのも、偏に関係各位のお力添えの賜物であり、衷心よりお礼申し上げます。

特にご多忙を極める吉野毅先生には、貴重な彫刻「請」を設置していただき、多くの方々が観覧し、当美術館の存在を高める機会をつくってくださったことに対し改めて感謝の意を表したいと存じます。誠に有り難うございました。



吉野先生自ら指揮(左側)

(文責 館長 船山 義郎)

# ★わーくしよっぷ のできごと★

これまでワークシヨップの活動をご報告いたします。

## ▼ローズP&O和紙

6月29日(土)



東八甲田ローズカントリーで牛乳パックとバラの花びらを使用した和紙づくりを行いました。親子で和紙作りに挑戦していました。

## ▼ダンボールハウス

7月5日(土)



小さな家と大きな家を一人数で協力しながら作っていました。最後には自分が作った家で満足そうに遊んでいました。

## ▼せんべいストラップ

7月10日(木)



東北町、彩香園様を対象にしたせんべいストラップ作りを行いました。慣れない作業に戸惑いながらも、最後にはせんべいだけではなく、クッキーなど様々作っていました。

# ★若者育成講座★

8月26日(土)



「未来の青森県を担う若人育成講座」の地域体験学習として、棚内里菜さん、西塚未奈さん、西澤志織さんの3名がワークショップ補助体験を美術館で行うこととなりました。

最初のオリエンテーションの後、船山館長の説明で館内を見学し、彫刻「請」の空拭き掃除をして頂きました。彫刻を間近で見る機会が少ないという3人は、緊張しながらも丁寧に組み立てました。次に後日、城南児童館のダンボールハウスワークショップに使う小さなダンボールを大量に作り、最後にせんべいストラップ作りを体験して頂きました。ダンボール作りでは、様々な形を作って頂き、使った子ども達も満足している様子でした。

最初は緊張気味の様子でしたが、段々と緊張が解けていったのか、最後のストラップ作りは和気藹々といった様子でした。

# ★インターンシップ★

6月17日～6月19日

野辺地高校の竹達有香音さんがインターンシップで美術館の仕事を体験学習することとなりました。

黒井健展で看視ボランティアのご協力くださった皆様にお渡しする御礼グッズ。オリジナルコースターを作って頂きました。事前にデザイン画を考えて頂いており、デザインを元に消しゴムはんこを作りコースターを作って頂きました。館内の清掃、グッズ売り場の置き方を考えるなど、美術館の通常業務に携わって頂きました。

また、鷹山宇一作品の写真撮影もして頂きました。細心の注意を払い、緊張した面持ちで真剣に作品と向き合っており、出来たかと思えます。何事も丁寧に真剣に取り組んでいたことが大変印象強く残りました。



# 美術館日誌

## 7月

3日(木)上十三行政連絡員視察5日(土)WSダンボールハウスをつくろう(南公民館にて)10日(木)WSせんべいストラップづくり(美術館2F)22名来館12日(土)八戸高専見学のため来館(10名)18日(金)RAB取材のため来館19日(土)「日本近現代洋画への旅」展開催式23日(水)画集会議(美術館2F)28日(月)RAB撮影のため来館30日(水)彫刻「請」搬入31日(木)ふるさと研修

## 8月

1日(金)お呈茶3日(日)20周年記念式典9日(土)画集打ち合わせ(美術館応接室)。若人育成講座(3名来館)20日(水)WSダンボールハウスをつくろう(城南児童館)西野教育普及員・千葉教育普及員出張22日(金)WS牛乳パックで和紙をつくろう(城北児童館)西野教育普及員出張23日(土)画集刊行委員会(美術館2F)24日(日)七彩会油画教室開催(美術館2F)28日(木)画集鷹山宇一作品撮影のため八戸市議会へ(奥山学芸員出張)30日(土)第2回理事會(美術館応接室)



彫刻「請」搬入  
7/30(水)  
吉野毅先生の彫刻「請」が、スペイン館ホールについて設置されました。設置当日は吉野先生が立ち会い、真剣な眼差しで作業を見守っていらっしゃいました。

## 9月5・7日開催！ 秋まつりワークショップ 灯笼NIGHT

秋まつり期間中の9月5・7日、七戸川(七戸幼稚園様付近)でワークショップ「灯笼NIGHT」(下ウロウナイト)が開催されました。  
ダンボールの枠で作られた灯笼は、およそ300個。枠は美術館スタッフが制作し、枠に和紙を貼る作業は、城南児童館の児童の皆さんの協力のもとに行われました。  
秋まつり当日は、午後から川辺に灯笼の設置を開始。夕方からこの日のためのボランティアの皆さんも加わり、火付け作業が行われました。  
火付け作業に夢中になっていたスタッフが、付くと暗闇に色とりどりの灯笼たちが煌々と浮かび上がり、幻想的な雰囲気。川沿いの光が川面にに映し出され、水面近くのお客さんに訪れてくれた児童の皆さんが、続々と観覧の訪れ、風流な秋まつりを楽しんでいました。



灯笼NIGHTの方は、たくさんの方のご協力により、無事フィナーレを迎えることができました。ありがとうございました。ありがとうございました。灯笼に火をともし、灯笼ボランティアの皆さん

## ♪♪♪♪♪ 児童館でワークショップ ♪♪♪♪♪ <8月20日・22日> ♪♪♪♪♪

8月は児童館でのワークショップが行われ、賑やかで楽しい時間を過ごしました。

●8/20(水)城南児童館さん

「ダンボールハウスをつくろう」

●8/22(金)城北児童館さん

「牛乳パックで和紙をつくろう」



ダンボールハウスは、みんなが入れる広々とした空間にテーブルや冷蔵庫、シャンデリアまで作られ、快適なおうちとなりました。和紙作りでは、カラフルな切り抜きや押し花を紙すきにのせて、かわいらしく面白いハガキやおしりを作りました。どちらのワークショップも、子どもたちのアイディアが光るすばらしいものができました！

# 日本近現代洋画への旅

Report



当財団福士孝衛理事長の挨拶にはじまった開催式の様子。七戸町長・小又勉様、長谷川徳七・智恵子ご夫妻、七戸町議会副議長・天間清太郎様、RAB十和田支局長・竹内愛一郎様もテープカットにご参加くださいました。

## 「日本近現代洋画への旅」、開催式及びトーク・ショーを行いました。



五姓田 義松「人形の着物」前でのトークショーの様子。

展覧会初日の7月19日に開催式を行いました。  
当日は日動美術館から長谷川徳七・智恵子ご夫妻にも御出席いただき、開催後のトークショーでは、山岡コレクションや日動美術館のことなどを話していただきました。

青森放送株式会社様のご共催を頂き、7月19日から「日本近現代洋画への旅」を開催して参りました。  
本展では高橋由一をはじめ、日本の近代洋画を代表する作家の作品と鷹山宇一記念美術館の主要作家である鷹山宇一の作品を多数ご紹介させていただきます。  
お越しくださった皆様、ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。  
ここでは会期中の出来事をピックアップしてご紹介します！！

8月1日(金)「茶道裏千家七戸会」によるお呈茶がおこなわれました。



設置されたばかりの彫刻「請」の前での様子。

毎年恒例のお呈茶が、今年は8月1日の開館記念日に茶道裏

千家七戸会の方々のご協力のもと、おこなわれました。裏千家七戸会の皆様、ありがとうございました。

### 会期中限定オリジナル和菓子

御菓子のみやきん様にご協力いただき、会期中限定で由一の「鮭図」をモチーフにしたオリジナル和菓子を本店にてご販売いただきました。



御菓子のみやきん様、ありがとうございました。

## 次回特別展のお知らせ

「第74回国際写真サロン展」

10月11日(土)～11月3日(月)

「第31回日本の自然写真展」

10月11日(土)～10月29日(水)

「国際写真サロン展」は、写真表現の可能性に挑戦した多彩な写真芸術の最高のものを集めた入賞・入選作品を対象とした特別展です。本展では、多くの方々に、その時々の国際情勢が反映された作品を通して、今の世界の現況をみていただき、写真芸術への理解を一層深めていただくことを期待し、企画いたしました。

また、「日本の自然写真展」は、各県の風景や動植物、人間の営み等をストリートに表現した日本の豊かな自然をいつまでも守り続けてほしいと願いを込めて併設展としました。

※10/12は午後3時で一旦クローズいたしますのでご了承ください。



審査委員特別賞 To Nibbana  
Howsha Madurange Jayasekara



青森県一賞 自然の妙 柳谷 昌輝

好評発売中!!  
ぐれっとパス

大人1,000円  
大学生500円

ぐれっとパスツアー

運行日:  
10月19日(日)  
11月16日(日)

### 入館料

一般 500(400)円  
学生 300(240)円  
小中学生 100(80)円  
幼児は無料

友の会設立20周年記念・第6回海外美術研修旅行「サンクトペテルブルク・パリ美術紀行8日間」に参加された方々からお寄せいただいた研修旅行記をご紹介いたします。(7・8頁)

サンクトペテルブルク・パリ  
美術紀行を終えて

東北町 小林光子

石造りの重厚な建物が整然と建ち並ぶサンクトペテルブルク市内にあるお洒落な(?)色彩の寺院。ただ唯然とするばかりの威容な大きさを誇る宮殿。  
この様な建造物を造ったロシア(ソ連)という国の力に尊敬と脅威を覚え、当時の豪華な垣間見る事が出来る。形拳さん主演の「おろしや国酔夢譚」をもう一度観なくては...と思つたものです。  
% 展示しきれない美術品は96%!  
! 展示しきれない美術品は96%!  
! 展示しきれない美術品は96%!



モナリザ

刻絵・人館る誌ビ  
どや人・は美でやテ  
こ彫で人、術見雑レ

オではありませんでした。驚き、レ  
モノリザの冠式の絵で、  
う正銘の(?)、ムッラ、シ、  
れ、早々の引き上げ、エッ、  
に、災難続きで、上、  
あり、ま、が、返、  
埃、レ、飲、び、  
ル、ズ、も、飲、び、  
ル、ズ、も、飲、び、  
ル、ズ、も、飲、び、

感謝の心で...

十和田市 下山恭美子

ペテリまでの十二時間、乗継ぎ機  
館団長の挨拶、本場の料理を味わ  
いながら、自己紹介、この時、  
「な、皆、さ、ん、ご、さ、い、な、い、

初めてのサンクトペテルブルク

十和田市 中村初子

美術館の紹介番組を見て、私には行  
け、と、今、回、下、山、さん、に、友、会、の、入、り、

不安で、説明会に参加しても、初  
対面で、食事、部屋、の、美、術、  
室、を、一、緒、に、見、学、は、強、く、  
認、定、さ、れ、た、事、は、ア、  
館、が、鑑、賞、を、終、る、劇、場、  
レ、が、中、で、ホ、テ、ル、に、  
白、夜、の、中、を、ホ、テ、ル、に、  
し、小、雨、が、降、り、外、向、  
ル、ク、最、後、の、訪、れ、大、噴、  
の、迫、力、が、真、っ、直、ぐ、流、れ、  
ド、立、間、を、真、っ、直、ぐ、流、れ、  
の、立、間、を、真、っ、直、ぐ、流、れ、  
た、か、ら、の、眺、め、初、め、  
ま、し、た。



嵐山宇一記念美術協会友の会 2014年海外旅行「サンクトペテルブルク」

# ロシアの旅

十和田市 小泉孝恒

5月9日七戸十和田駅を出発、羽田からパリを経由して、目的地ロシアのサンクトペテルブルク・プルコヴォ空港に到着したのは、翌日の15時（現地時間）過ぎでした。乗り継ぎ時間を含め30時間弱かかりました。

空港からホテルまで、バスで移動、サンクトペテルブルクの街並みは、前にみたイタリアやフランスのように、石で出来た建物が整然と並び大変きれいでした。

エルミタージュ美術館は、皇帝の宮殿として建てられた建築物で、その豪華さにびっくりしました。特に豪華だと思ったのは、黄金の間です。柱、壁、天井、ドア、シヤンデリアなどが金で装飾されて、さらに細かい細工がしてあり圧巻でした。

食事は、ホテル、レストランとも、とても美味しくいただきました。食べられないものや口に合わないものはありませんでした。おかげで3kg体重が増加してしまいました。

今回の参加人員は添乗員さんを含めて23名でした。その中でタバコを吸うのは私ただ一人でした。

禁煙が進んでいる今日この頃、言葉の通じないロシアで喫煙場所を探すのは大変と思っていました。ロシア滞在中同行した現地ガイドさんがヘビースモーカーでしたので、彼とお付き合ひして、通常より多く吸った状況でした。ロシアでは建物内での喫煙場所が少ないものの、一旦外に出ると、建物の出入り口、公園など至る所に灰皿があり、喫煙に困りませんでした。皆様のおかげで楽しい旅行になりました。有難うございました。



鷹山宇一記念美術館友の会 2014年ロシア旅行 友の会美術紀行 エカテリーナ宮殿

☆お便りをお待ちしています。皆様の会報です。お便り、ご要望、旅行記等をお寄せください。

## 友の会会員登録の更新と新規会員登録入会お誘いのお願

平素から会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。今後とも鷹山宇一記念美術館の応援をよろしくお願い申し上げます。友の会では会員の皆様に喜んでいただくよう研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。なお、平成26年度更新手続きは、美術館窓口と郵便とも振替により行っておりますのでよろしくお願い致します。

### ○友の会の事業内容

- ① 県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ② 海外美術館研修旅行
- ③ 美術館作品購入基金への協力
- ④ 鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤ 会報の発行
- ⑥ その他(美術講演会の開催等)

### ○一般会員

年会費 3千円  
入館料2割引

- ① 無料入館券3枚。会員証提示により
- ② ミニジウムグッズ1割引
- ③ 研修会、講演会への招待、優待
- ④ 他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤ 会報の配布

### ○特別会員

年会費 1万円  
一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈

### ○賛助会員

年会費 2万円  
一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③ 特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇ 詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★会費についてのお知らせ  
会費の納入は随時受け付けておりますが、10月1日以降に新規会員となった方は、翌年の3月31日までの会費となります。

★皆様からのご投稿を頂き会報第76号完成。有り難うございました。友の会会員のご協力を頂き、設立二十周年記念特別号の発行に微力ながら貢献したいと思っております。皆様の協力をお願い申し上げます。  
(照井)

### 編集後記